

公益社団法人福岡県人権研究所

“りべらしおん” No94(2024/12/24)

今年もいよいよ終わりとなりました。会員のみなさまにとってどういう一年だったのでしょうか。福岡県人権研究所としては創立 50 周年という節目の年でありましたが、執行部の体制も代わり、新しい一步を歩み出したところです。来年が素敵な二歩目になりますよう心からお祈りいたします。

1. 12月15日に開催された上杉聰さんと語ろう会の報告です。かなり熱の入った会でした。

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/506955477.html>

2史・資料プロジェクトの活動報告です。

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/506955245.html>

3. 教育部会の報告です。

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/506955380.html>

4. 会員からの質問と執筆者による回答

会員の中村成一さんから『リベラシオン』編集部に質問が寄せられました。195号掲載の「諸先輩の意見を聞く会」中の原口孝博さんの「『福岡部落史研究会』創立から五〇周年を迎える想い、伝えたいこと」の中に以下のような記述がありました。

***** | **

・・・・・偏狭な国家・ナショナリズムや「勝組み」をめざすエゴ的な個人主義が世界中に溢れ、差別も戦争も止まりません。

しかし、めざすべきは「部落解放」の先にある世界中の〈あらゆる人間の解放〉です。私達は現代社会を支配する国家・ナショナリズムに編入された「多」ではなく、競争・金・独善で自閉化の道を歩む「個」にも属さず、【他者を含みつつ持つ個】への再生によって新たな【衆】（人間の根源的な存在形態—慈愛・共感・相互扶助に拠る）＝「眞の共生社会」へ向かうべきではないか。その辺りにこれからキーワードがあると考えています。（時間・空間的なマクロ視点、自己・他者性をも相対化・拡張して考えてみる一つの視点へ）

中村さんはこの文章が「気になる」として、「とくに、『多』と『個』と『衆』の関係が気になるところです。具体的に何を言っておられるのか?」という疑問を持たれ、「ぜひ、原口さんには、ここの文章をより詳しく、『リベラシオン』か『通信りべらしおん』で書いてほしいと思います。」と編集部に問い合わせてきました。それで原口さんにお願いしたところ、快く受け入れてくださり、以下のような文章を寄せていただきました。ちょいと長めなので、数回に分けて掲載したいと思います。

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/507266025.html>

5. 言葉を大切にする 〈その 14〉 「耳なし芳一」は発禁文学か、「座頭市」は上映禁止か。

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/506147943.html>

6. 2025年度の研究プロジェクトの募集は1月末までです。会員の研究活動は研究所の根幹です。人権に関するものならなんでもかまいません。積極的に応募してください。

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/505982892.html>

7. 【重要】今後の研究・啓発活動の予定です。年末年始に学びを！！

<https://f-jinkenken.seesaa.net/article/504432301.html>

福岡県人権研究所の新刊 好評発売中

林内隆二『Hello everyone Mr.Rinnai の定時制日記』 1,100 円

Amazon や楽天 books からも購入できます。

りべらしおん 第 94 号

発行 公益社団法人福岡県人権研究所 2024 年 12 月 24 日

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしています。

info@f-jinken.com (登録解除もこちらから)

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】